

## イチゴ「やよいひめ」の 年内収量を多くする育苗ポット資材

### 研究のねらい

「やよいひめ」は、安定して12月上旬から収穫を開始できる栽培体系が未確立で、収穫始めが大幅に遅れる事例が発生しています。そこで、育苗ポット資材の違いによる年内収量への影響について検討しました。



写真 空中ポットレストレイ

### 技術の特徴

- 1 ポットの側面と底面が網状になっている「空中ポットレストレイ」(写真)は、地温の上昇を抑える効果があることがわかりました(表1)。
- 2 「空中ポットレストレイ」で育苗した「やよいひめ」は花芽分化が早まり、収穫開始期のばらつきが少なくなるので、需要期の12月の収量が多くなりました(表2、3)
- 3 「やよいひめ」は、花芽の発育に地温の影響を受けやすい性質があることから、夏季の育苗管理では、地温にも注意を向けることが重要です。
- 4 「空中ポットレストレイ」は、鉢土が乾きやすくかん水回数を多く必要とするので、導入の場合は、自動かん水設備が必要となります。

表1 育苗ポット資材別の地温

育苗ポット資材	平均地温 (°C)	日最高平均地温 (°C)
空中ポットレストレイ	21.4	24.3
すくすくトレイ	23.3	28.1
10.5cmポリポット	23.1	28.0

平成21年8月25日～9月10日

表2 育苗ポット資材が収穫時期に及ぼす影響

育苗ポット資材	頂果房	
	収穫始め	収穫揃い
空中ポットレストレイ	±0日	-14日
すくすくトレイ	-1日	-2日
10.5cmポリポット	12月11日	1月14日

平成21～23年度の平均値

空中ポットレストレイとすくすくトレイの値はポリポットとの差  
収穫揃いは8割の株が収穫開始に達した日

表3 育苗ポット資材別の月別収量

育苗ポット資材	収量 (g/株)		
	12月	1～5月	計
空中ポットレストレイ	118	795	913
すくすくトレイ	101	826	927
10.5cmポリポット	64	942	1007

平成21～23年度の平均値

### 今後の取り組み

「やよいひめ」の収穫期を早めるためには、定植直後の高温にも注意する必要があります。今後は、定植後のハウス内の環境制御についても取り組んでいきたいと考えています。

(執筆者：日戸 正敏)